

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	アトリエえとす		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 30日 ~ 2026年 2月 20日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数)
○従業者評価実施期間	2026年 1月 30日 ~ 2026年 2月 20日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者様との迅速かつ丁寧なコミュニケーションを最優先事項として取り組んでいます。	随時電話や面談での相談に応じる体制を整えております。事業所での支援計画やねらいを具体的に説明し、家庭と事業所が同じ方向を向いて支援できるよう連携を深めています。	送迎時の口頭伝達のみならず、連絡帳やLINEなどで、重要な案内や日々の様子を確実に、かつリアルタイムに届け、ホームページなどで毎月届けられる体制を整備します。
2	職員同士話し合いを行い、目的を設定し、異年齢でもできることを行い、コミュニケーション能力の向上、指示理解が高められるような支援を行っています。	年齢に合わせてできることを見極めて、できた！がたくさんできるように工夫しています。	言葉の理解や気持ちを言葉で表す、感情のコントロールが難しいお子さんが多いのでそこに対しての支援ができるような集団活動も今後取り入れていきます。
3	子どもたちがリラックスして過ごし、「第二の居場所」として安心感を持って通所できていることが当事業所の最大の強みです。	昼でゆったり過ごしたり落ち着けるスペースの設置や、製作活動のスペースのべ面設定が出来る環境を整えています。	支援会議の頻度を増やし、特定の職員だけでなく全員が「その子が安心する関わり方」を高いレベルで実践できるよう、内部研修を継続します。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家庭での関わり方を共に学んだりする「学びの場の提供」が不足していることが課題として感じられます。	毎日の報告や情報共有は円滑に行えていると自負しておりますが、一方で保護者様への学びの場の提供が不足している等、家族支援の充実に課題があると感じております。	今後は、日々のやり取りで得た信頼関係を土台に、専門的な助言や学習機会の提供を強化し、家庭と事業所がより強固に連携できる体制を目指します。
2	現在は事業所内での活動が中心となっており、児童館や地域の他のお子様との直接的な交流機会は不足しているのが現状です。	子どもたちが地域社会の中で安心して過ごせるよう、外部との接点を増やす取り組みを検討してまいります。	今後は、まずは近隣の公園利用から始め、段階的に地域行事への参加や、児童館との連携を模索します。
3	運営上の大きな課題として、職員の定着率が低く、支援体制の継続性に不安があることを重く受け止めております。	職員間で「お子様が安心する関わり方」のノウハウを標準化し、担当が変わっても支援の質が落ちないマニュアル作成やミーティングを強化します。	職員一人ひとりが心身ともに余裕を持って子どもたちと向き合える環境を整えてまいります。